

平成23年台風第6号による  
那賀川の出水状況(国管理区間)について  
(第2報)

平成23年台風第6号による那賀川での直轄事業の効果について取りまとめましたのでお知らせします。

吉井地区において、排水ポンプを稼働して、25戸の家屋浸水を防ぎました。

長安口ダムの洪水調節により深瀬地区の16戸の家屋浸水を防ぎました。

平成23年8月1日(月)  
国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

<問い合わせ先>

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

電話(0884)22-6461(代表)

副所長(技術)改修 高橋 淳二 内線(204)

副所長(技術)管理 湯佐 昭二 内線(205)

出水状況についての問い合わせ

調査・品質確保課長 元木 真二 内線(351)

ポンプ稼働効果についての問い合わせ

工務課長 片岡 章三 内線(311)

ダムの洪水調節についての問い合わせ

事業計画課長 宮地 正彦 内線(6121)

# 平成 23 年 台風第 6 号による 那賀川の出水状況（国管理区間）（第 2 報） ～7 月の出水としては観測史上最高水位を記録～

—総雨量（7 月 17 日～20 日）が 1,000 ミリを超過—



▲ 那賀川橋（那賀川河口から 7.0 km 付近）（平成 23 年 7 月 19 日 18 時 30 分頃）  
最高水位（瞬時値：6.97 m）時の古庄地点

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

注) 本資料は那賀川についてとりまとめた資料です。  
また、資料における数値については、平成 23 年 8 月 1 日現在の速報値であり、  
今後修正される可能性があります。  
本紙 1～3、5、6 ページは、第 1 報（7 月 22 日発表）と同じものを掲載していますが、  
一部追加修正した箇所は赤文字で示しています。

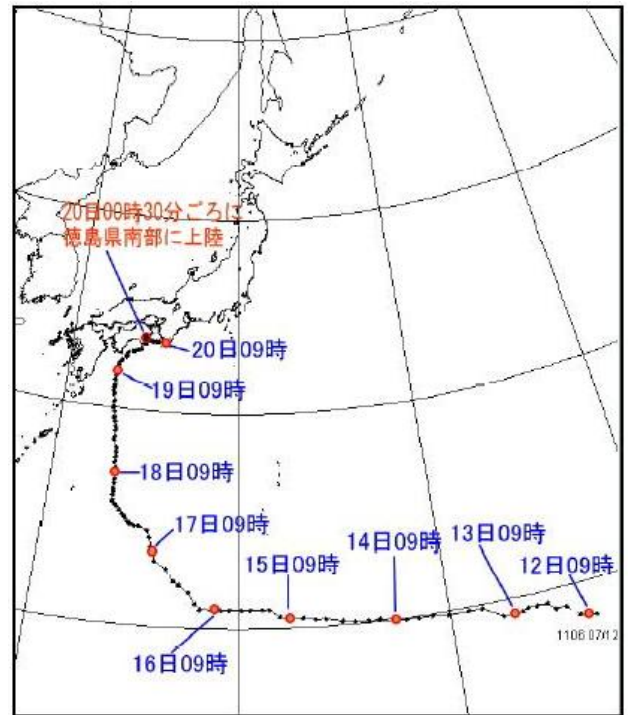
# 気象の概要（平成16年以来7年ぶりに台風が徳島県に上陸）

平成23年7月12日15時に南鳥島近海の太平洋上で発生した台風第6号は、発達しながら北緯20度付近を西に進み、15日15時には大型で非常に強い勢力となり小笠原近海を通過し、17日午前9時には超大型で非常に強い勢力となり、沖の鳥島付近に達しました。

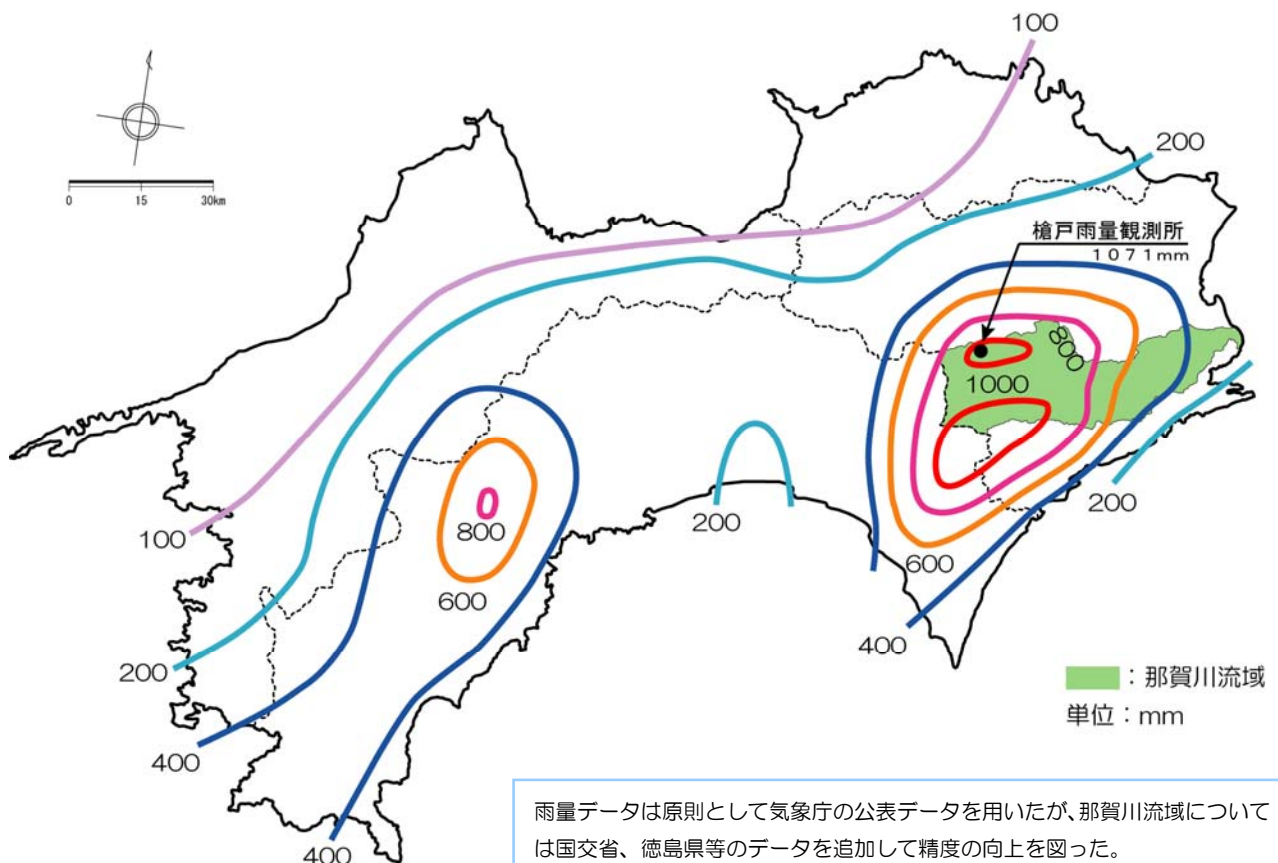
その後、南大東島の東海上をゆっくりと北上し19日には四国の南海上に達し、翌20日0時30分頃に徳島県南部に上陸しました。

那賀川流域では7月17日から雨が降り始め、長安口ダム上流の槍戸雨量観測所においては1時間に53mm（速報値）の猛烈な雨を記録し、総雨量（7月17日～20日）が1071mm（速報値）を記録しました。

## ■台風経路図（気象庁提供）



## ■等雨量線図〔総雨量：平成23年7月17日～20日〕

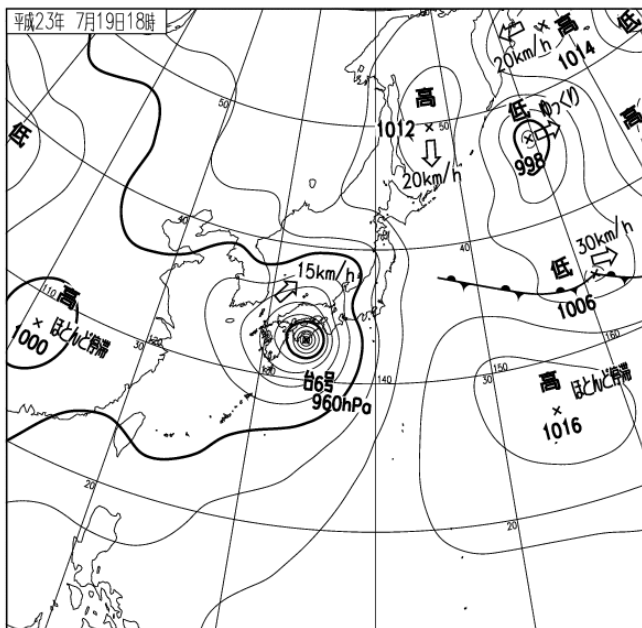


## ■出水経過一覧(7月18日から7月20日)

- 7月18日 6時50分 大雨洪水注意報(阿南市)発表(気象庁)  
 大雨洪水注意報(那賀町)発表(気象庁)  
 15時25分 大雨警報(那賀町)発表(気象庁)  
 17時30分 那賀川河川事務所 注意体制  
 21時50分 大雨洪水警報(阿南市)発表(気象庁)  
 21時50分 洪水警報(那賀町)発表(気象庁)
- 7月19日 5時20分 那賀川河川事務所 警戒体制  
 7時00分 水防団待機水位3.50m超過〔古庄〕  
 7時00分 水防警報(那賀川・待機)発令  
 7時50分 水防警報(那賀川・準備)発令  
 9時10分 はん濫注意水位5.00m超過〔古庄〕  
 9時10分 水防警報(那賀川・出動)発令  
 16時00分 那賀川上流部※のはん濫危険水位(避難判断水位)6.5m超過〔古庄〕  
 16時00分 那賀川河川事務所 非常体制  
 18時30分 最高水位(6.97m)記録〔古庄〕  
 23時00分 那賀川河川事務所 警戒体制
- 7月20日 0時30分 台風第6号徳島県南部に上陸  
 9時00分 那賀川河川事務所 注意体制  
 9時10分 水防警報(那賀川・解除)発令  
 17時10分 那賀川河川事務所 注意体制解除

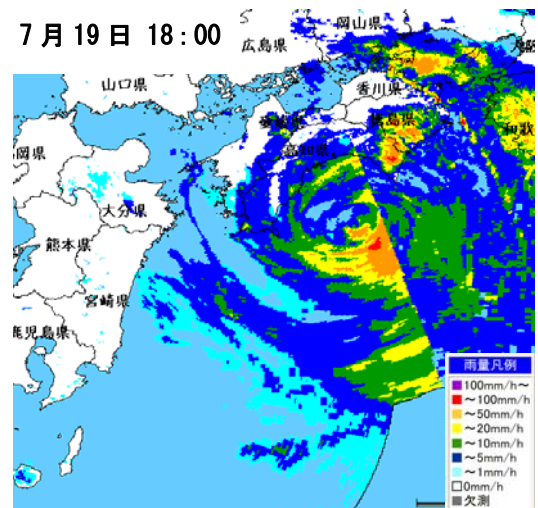
※ 上流部、下流部の区域については別紙参照(以下同様)

## ■天気図(気象庁提供)



▲平成23年7月19日 18時

## ■レーダ雨量実況図(国土交通省)

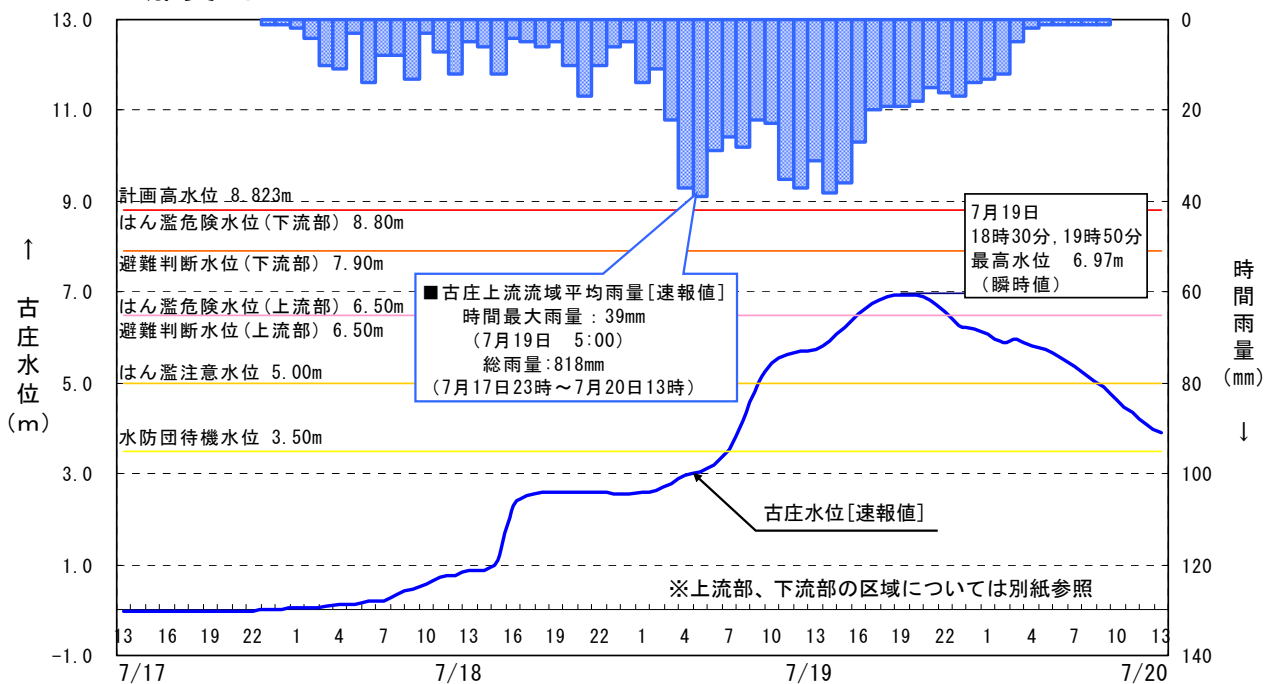


# 那賀川の出水状況

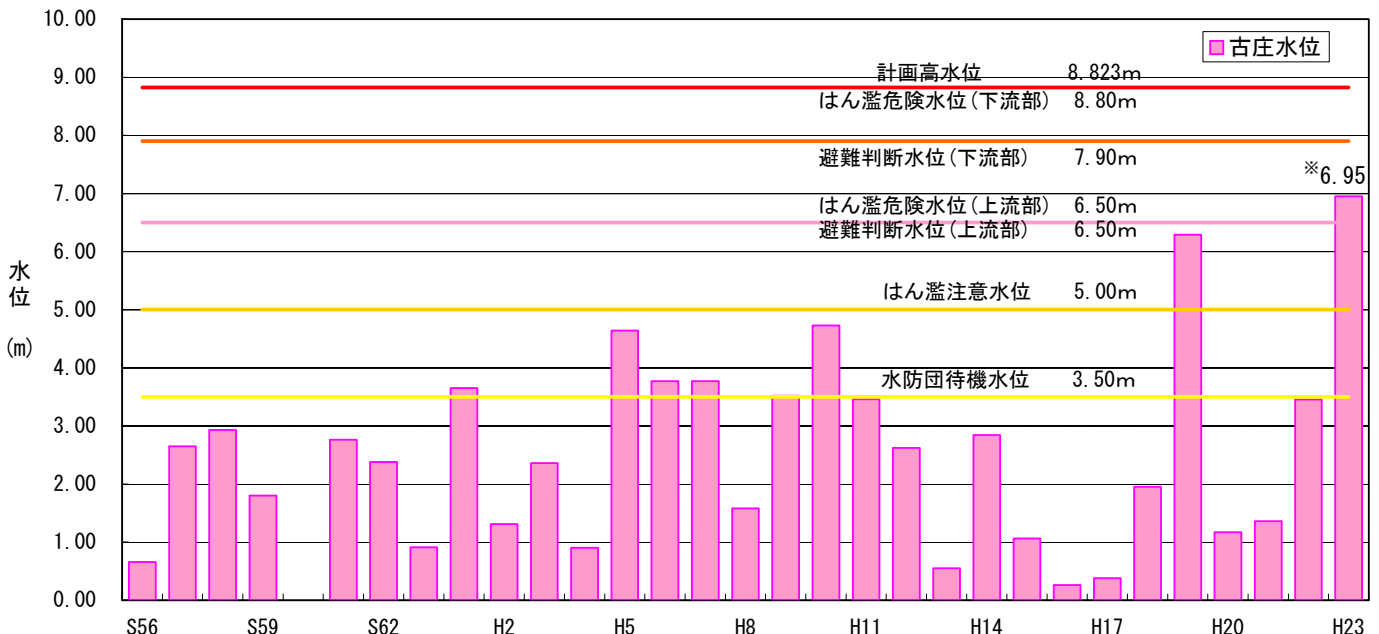
那賀川流域では、激しい降雨により、阿南市羽ノ浦町の古庄水位観測所(基準地点)において、19日7時00分頃に水防団待機水位、9時10分頃にはん濫注意水位、16時00分には那賀川上流部\*でのはん濫危険水位(避難判断水位)を超え、18時30分には最高水位(瞬時値:6.97m)を記録しました。また、最大流量は約6,700m<sup>3</sup>/s(流量観測による速報値)に達しました。

今回の古庄水位観測所の最高水位は、7月の水位としては昭和5年からの観測データの中で最高の水位を記録しました。(これまでの7月の最高水位は、昭和49年台風8号による6.65mでした。)

## ■雨量水位グラフ(平成23年台風第6号出水) 那賀川



## ■7月の最高水位の経年変化(最近の30年間:昭和56年~平成23年) 古庄水位観測所(那賀川)



-※は正時の値



# 台風第6号出水による長安口ダム洪水調節

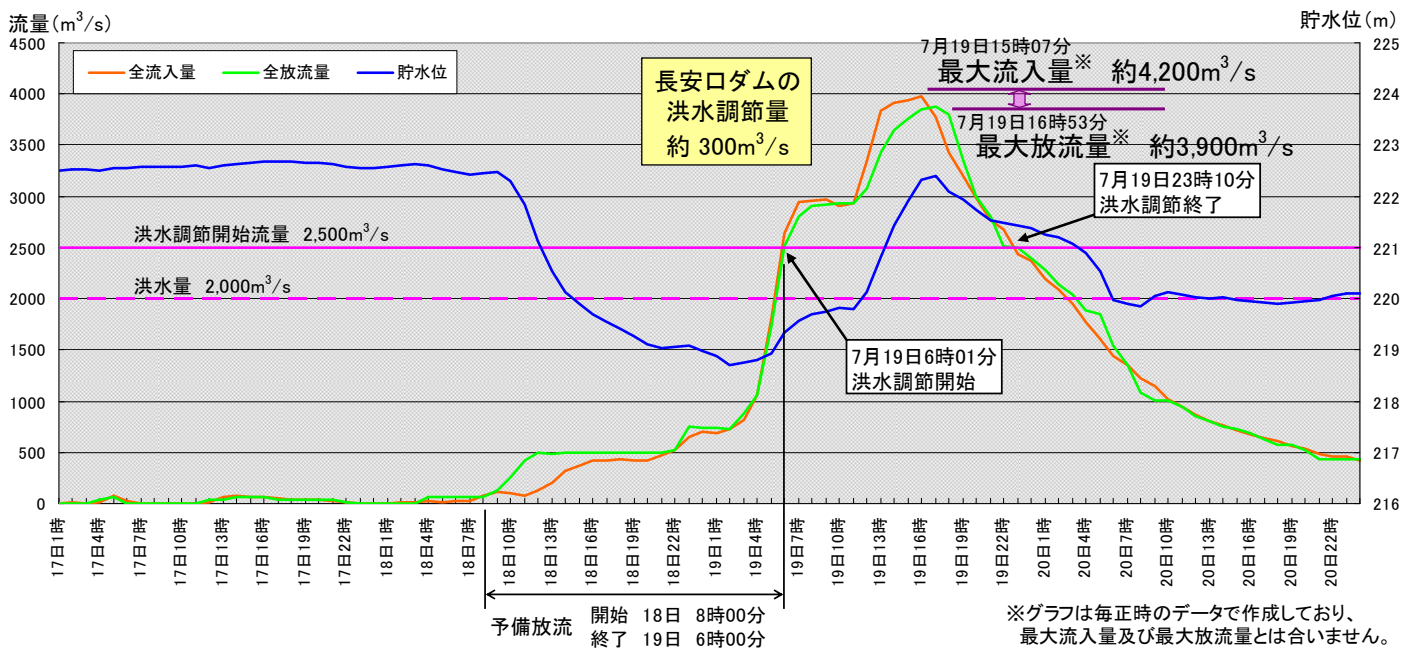
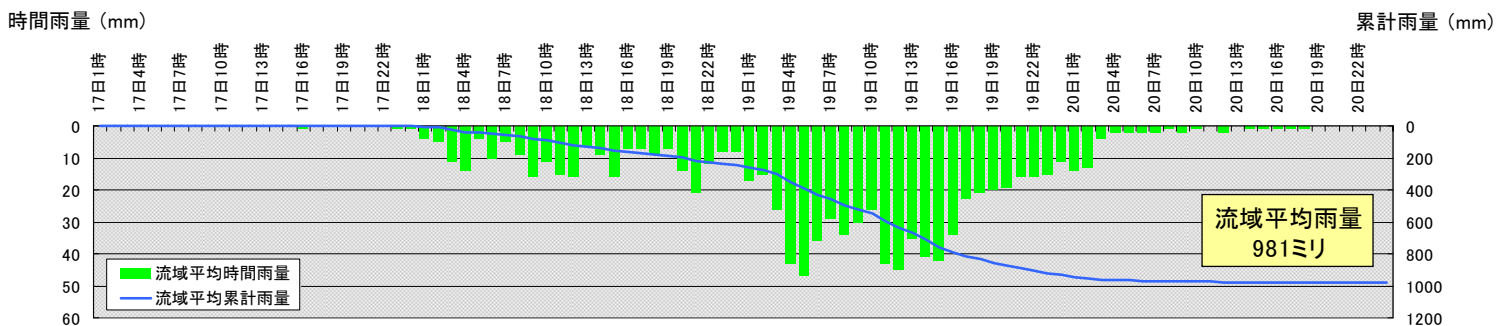
長安口ダムでは、台風第6号の洪水に備えて18日8時から予備放流を開始し、19日6時まで完了しました。

その後、ダムの流入量が増加し、19日6時01分に洪水調節開始流量（2,500m<sup>3</sup>/s）に達したため洪水調節を開始し、2,500m<sup>3</sup>/sを下回る23時10分まで洪水調節を行いました。

## ○長安口ダム上流域の雨量

- 流域平均雨量の総雨量 - - - - - 981mm（17日16時～20日24時）
- 流域平均雨量の最大時間雨量 - - - 47mm（19日5時）
- 長安口ダム地点の最大時間雨量 - - 52mm（19日14時）

- 長安口ダムの洪水調節量 - - - - 約 300m<sup>3</sup>/s
- 最大流入量 - - - - - 約4,200m<sup>3</sup>/s
- 最大放流量 - - - - - 約3,900m<sup>3</sup>/s



※グラフは毎正時のデータで作成しており、最大流入量及び最大放流量とは合いません。

# 水防活動

那賀川の国管理区間では、阿南市5地区（加茂・深瀬・吉井・楠根・持井）において浸水被害が発生しました。また阿南市上大野町久留米田等において堤防漏水が発生しましたが、地域の水防団によって「月の輪工」の水防活動が実施され堤内側の安全を確保することができました。

## ■被災箇所位置図

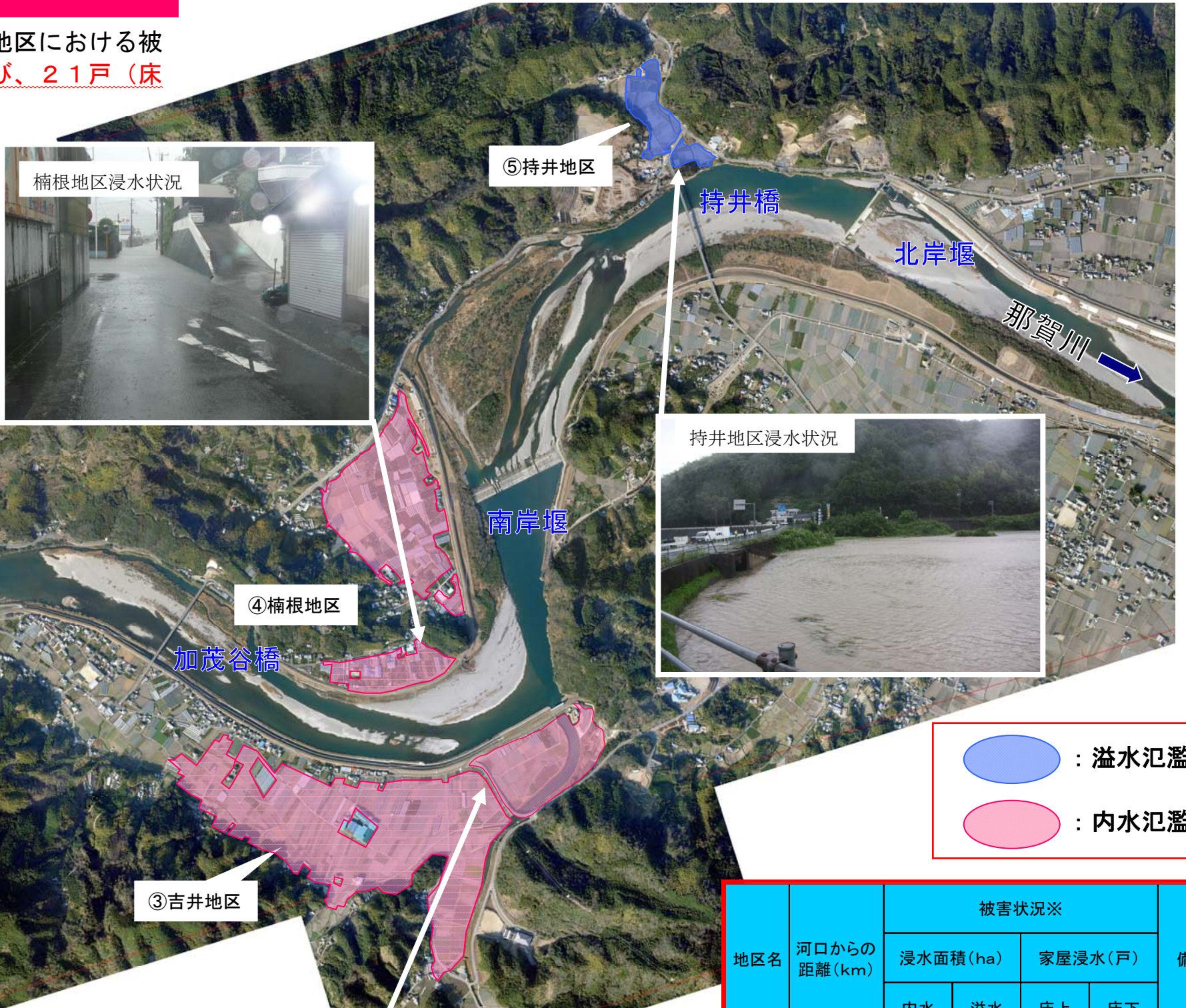


排水機場名	位置	ポンプ規模	稼働時間(7月19日~20日)	備考
楠根救急排水機場	那賀川左岸(楠根下流地区) 12.5km付近	2.0m <sup>3</sup> /s	7:59~ 0:16	
熊谷川排水機場	那賀川右岸(吉井地区) 13.6km付近	5.0m <sup>3</sup> /s	7:13~23:13	7月19日のみ
排水ポンプ車	那賀川左岸(楠根上流地区) 13.6km付近	0.5m <sup>3</sup> /s	14:20~ 4:45	



# 那賀川の浸水被害の状況

那賀川では、阿南市内の5地区で浸水被害が発生しました。5地区における被害状況は下図のとおりです。浸水面積の合計は約127haに及び、21戸（床上3戸、床下18戸）において家屋浸水が発生しました。



● : 溢水氾濫  
● : 内水氾濫

地区名	河口からの距離 (km)	被害状況※				備考
		浸水面積 (ha)		家屋浸水 (戸)		
		内水	溢水	床上	床下	
①加茂	17.0		約39	0	7	無堤地区
②深瀬	16.4		約5	0	4	無堤地区
③吉井	14.0	約54		0	1	有堤地区
④楠根	13.0	約24		3	6	有堤地区
⑤持井	11.0		約5	0	0	無堤地区
合計		約78	約49	3	18	—

※ 被害状況是那賀川河川事務所調べ（平成8月1日時点）

(注1) 上表の被害状況は速報値であり、今後修正する可能性があります。  
 (注2) 浸水範囲は推定であり、現在実施中の洪水痕跡調査により精度向上を図ります。



# 吉井箇所における排水ポンプの整備効果

排水ポンプの稼働により、25戸の家屋浸水を防ぎました。

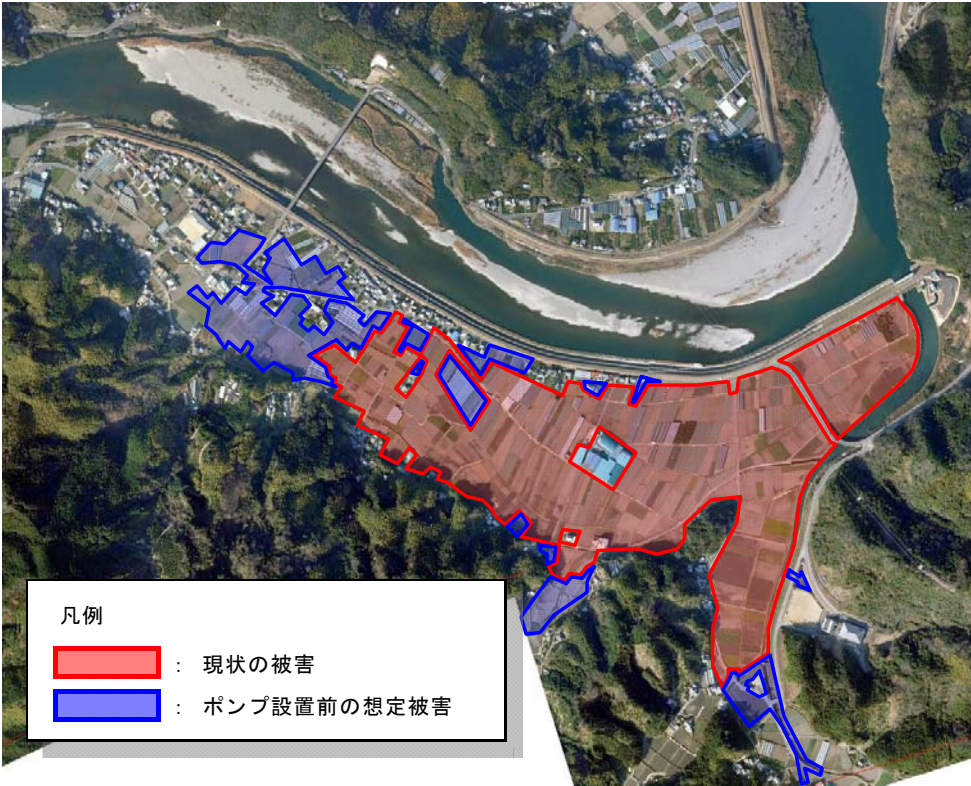


### 吉井箇所事業経緯

- ・平成17年3月熊谷川樋門が完成し堤防締切完了
- ・平成19年3月熊谷川排水機場を設置

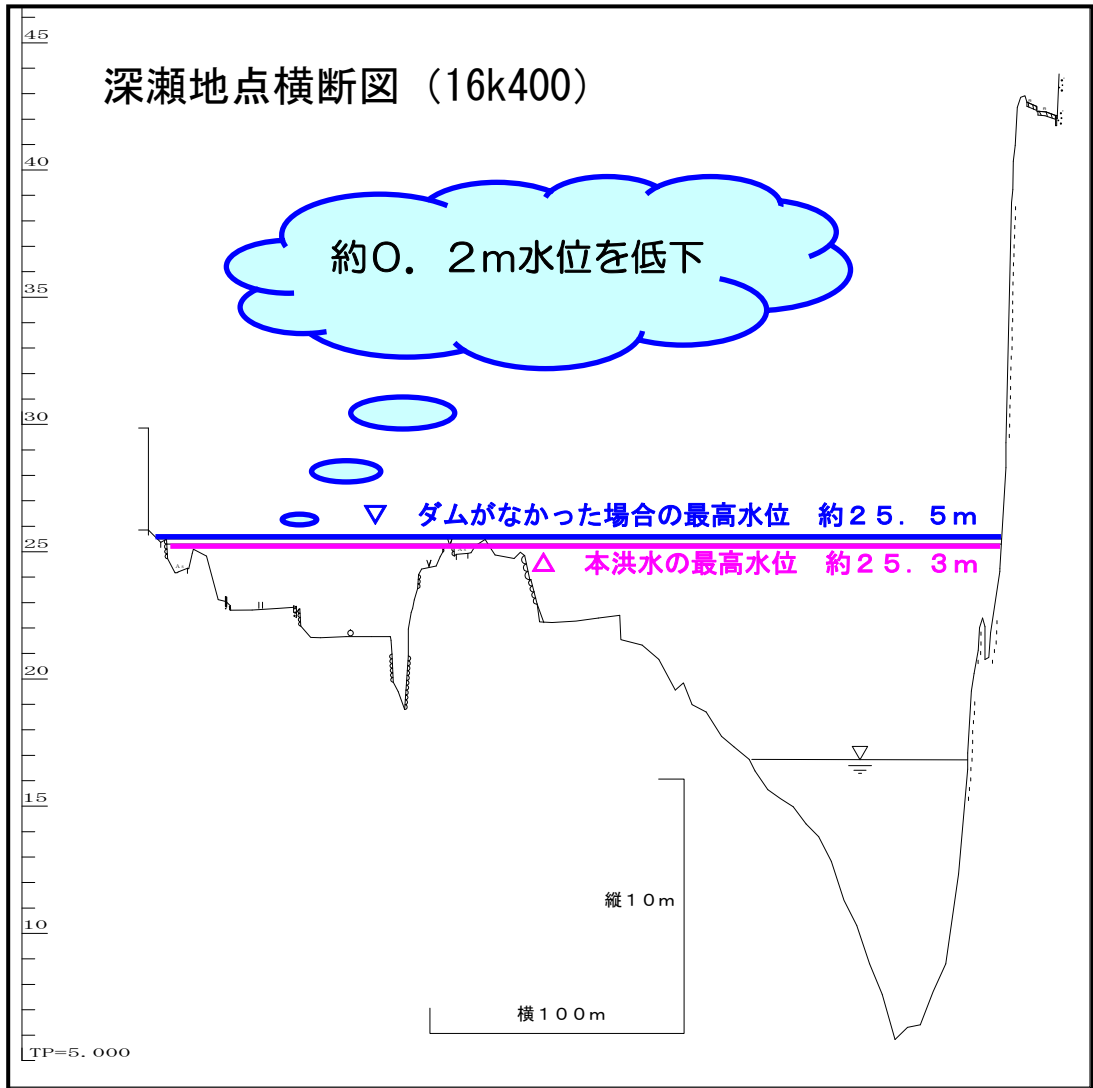
	浸水面積 (ha)	浸水戸数		県道浸水
		床上(戸)	床下(戸)	
現状の被害	54	0	1	あり
ポンプ設置前の想定	70	14	12	あり

※ ポンプ設置前の想定被害の浸水面積・浸水戸数は国土交通省那賀川河川事務所による推定値

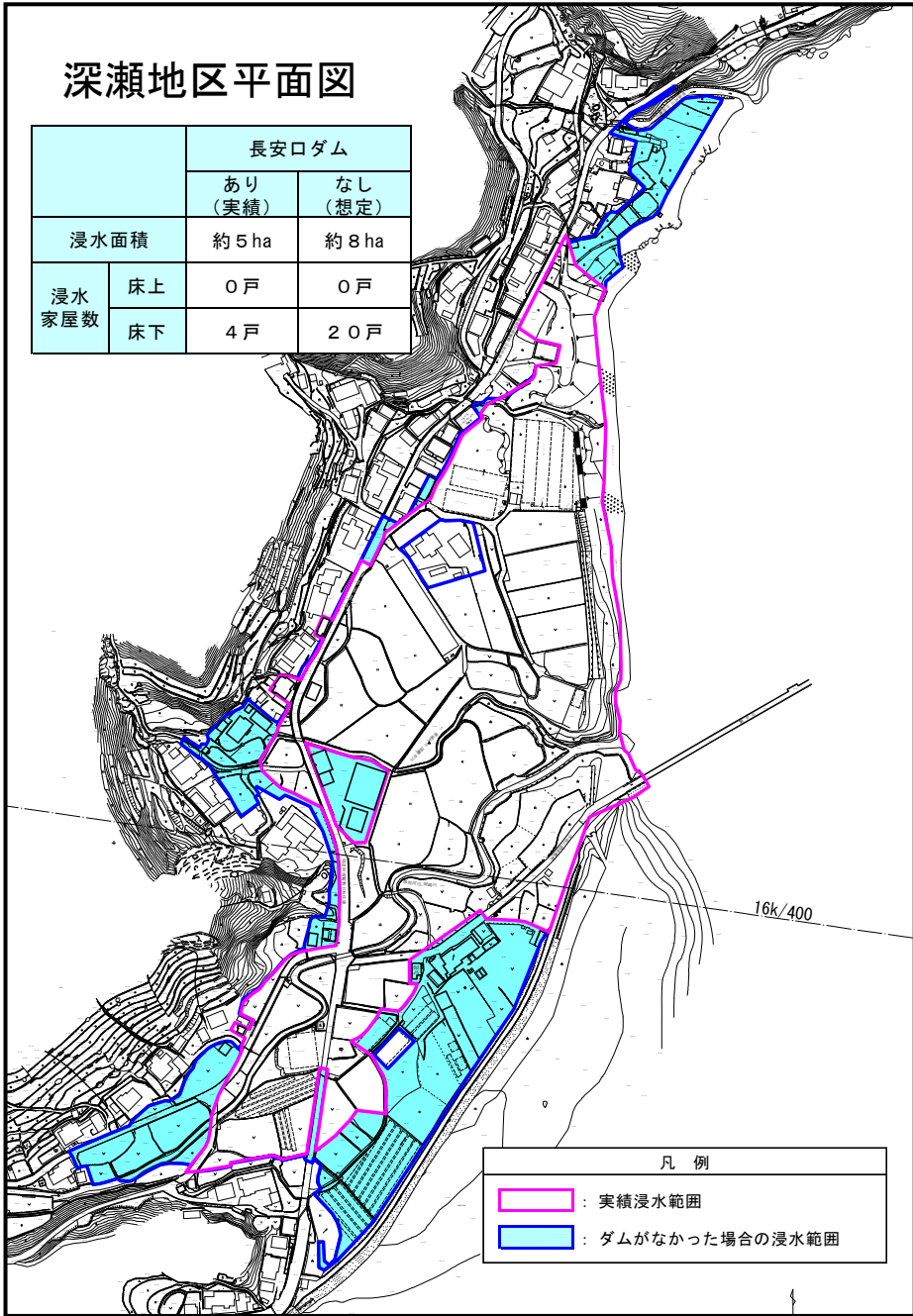


# 長安ロダムの洪水調節による水位低減効果

○長安ロダムでは、ダム貯水池に一時的に洪水を貯留することで洪水調節を実施し、ダム下流の阿南市深瀬地点において水位を約0.2m低減させ、16戸の家屋浸水を防ぎました。



※ダムがなかった場合の最高水位は国土交通省那賀川河川事務所による推定値





国管理区間

